MITSUBISHI

9504R588HC9204

三菱 フィルターコンパック 換気扇

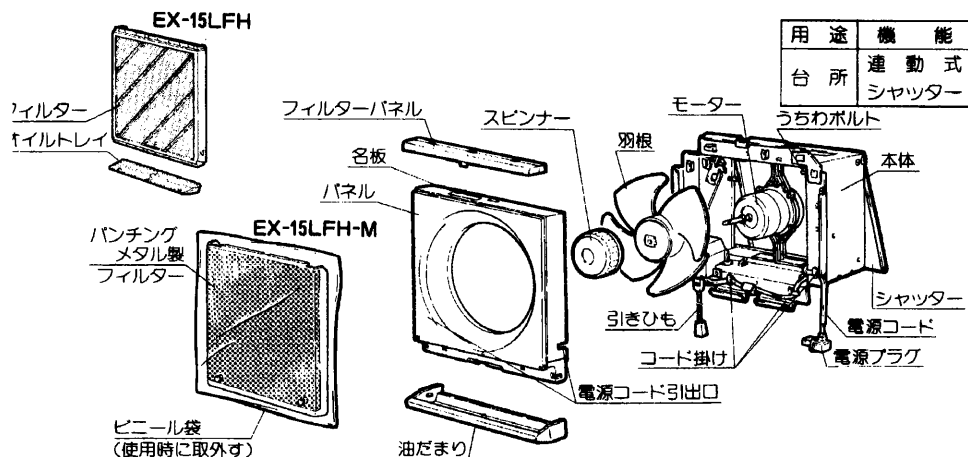
EX-15LFH・EX-15LFH-M

取付・取扱説明書

このたびは三菱 フィルターコンパック 換気扇をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取付・取扱説明書をよくお読みください。

なお、この説明書は保存しておいてください。ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、お役にたちます。
新しく壁穴工事・電気工事を行う場合はお買い求めの販売店、または専門の工事店に依頼してください。

各部のなまえ

用途	機能
台所	連動式シャッター

1. 安全のために必ず守ること

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

●表示と図記号の意味は、次のとおりになっています。

表示	意味
⚠警告	誤った取扱をしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号	意味	図記号	意味	図記号	意味
⃠	禁止		水場での使用禁止		指示に従い必ず行う
	分解禁止		接触禁止		電源プラグを抜く

1. 安全のために必ず守ること

⚠警告

	●ガス漏れの恐れのある場合は、換気扇を使用しないでください。 (ガス爆発の原因になります)
	●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。(火災・感電・けがの原因となります) **修理はお買上げの販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。**
	●製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。 (ショートや感電の恐れがあります)
	●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。またぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 (感電やけがをすることがあります)
	●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。(火災の原因になります) **●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に換気扇を取付ける場合は換気扇とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けてください。**(漏電した場合発火することがあります)

⚠注意

	●浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないでください。 (感電および故障の原因になります)
	●交流100V以外では使用しないでください。 (火災や感電の原因になります) **●天井には取付けないでください。** (落下によりけがをすることがあります) **●直接炎があたる恐れのある場所では使用しないでください。** (火災の恐れがあります)
	●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないでください。 (けがの恐れがあります)
	●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。 (落下によりけがをすることがあります) **●羽根や部品の取付けは確実に行ってください。** (落下によりけがをする恐れがあります) **●電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。** (感電やショートして発火することがあります)
	●長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

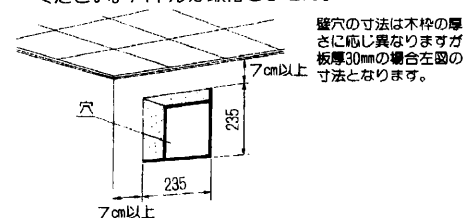
	特殊環境	換気扇のよい取付場所
周囲温度が40℃を超える場所には取付けないでください。 **カーテン・ひもなどが触れる恐れのある場所に取付けないでください。**	下記の場所では製品の寿命が短かくなります。 ● 温泉地 ● 海岸付近 ● 薬品工場 ● 養鶏・養豚場のようなほこりや有害ガスの多い場所	● 天井、壁より7cm以上、コンロより1m以上、ガス湯沸器横50cm以上離れたできるだけ高いところ ● 空気の流れが必要なため換気扇の反対側に出入口・窓などがあるところ

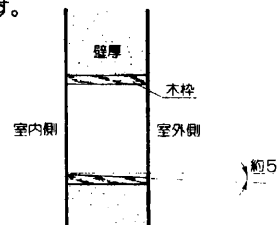
2. 壁穴工事

壁穴工事は専門の工事店が実施してください。

(1)壁穴をあけます。

■壁穴は天井や左右の壁から7cm以上離してあけてください。パネルが取付きません。

壁穴の寸法は木枠の厚さに応じ異なりますが板厚30mmの場合左図の寸法となります。

(2)板厚30mm以上の板で木枠を作ります。

■木枠の下部(室外側)に傾斜をつけて雨水の浸入を防ぎます。

3. 電気工事

電気配線は専門の工事店で実施してください。

■専用コンセントは換気扇近くに設けてください。(コード有効長70cm)

4. 本体の取付け

(図はLFHタイプを示す)

1. フィルター・スピンナー・羽根・パネルを外します。

- フィルターの側面を持ちパネルより外します。
- スピンナーをゆるめ羽根を外します。
- パネルの手掛け部分を引いて外します。

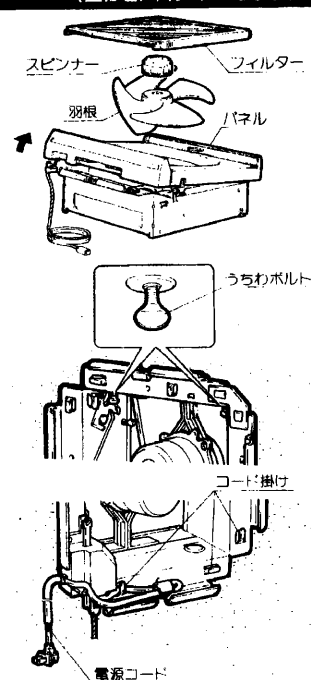
お願い

- パネルを外した状態で本体を立てないでください。スイッチ部がこわれます。

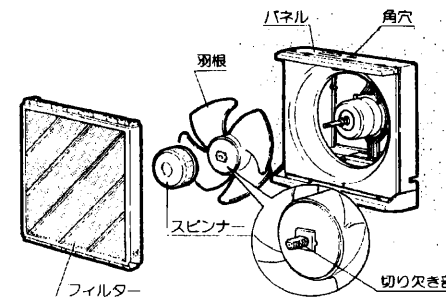
2. 本体を取付けます。

- 本体上部の「うちわボルト」2本をしっかり締付けてください。
- 「うちわボルト」で完全に固定できない場合は、木ネジ(市販品)で本体を固定してください。(上下・左右4ヵ所)

3. コンセントの位置に合わせ電源コード引出口を決めます。

- 左部に引出す場合は、コード掛けより電源コードを外し、図のように固定してください。

4. 本体の取付け つづき

4. パネル・羽根・スピンナー・フィルターを取付けます。

- パネルの角穴を本体上部のツメに引っ掛けはめ込みます。
- 羽根とモーター軸の切り欠き部(⌣)を合わせて羽根をモーター軸に挿入します。
- 羽根を持ってスピンナーを「ユルム」の反対方向にまわし羽根に当たるまで締付けてください。
- フィルターをパネルに取付けます。

5. 電源プラグをコンセントに差込みます。

6. 念のため、取付けが終わりましたら、電源コードが傷んでないか確認してください。また、ウェザーカバーが取付けられている場合は、シャッターの開閉がスムーズかを確認してください。

5. 使用方法

運転開始	運転停止
引きひもを引きます。 (操作部) 運転表示部	引きひもを引きます。 (操作部)

お願い

- 引きひもはまっすぐ下に引っ張ってください。斜めに引っ張りますとスイッチが故障する原因となります。

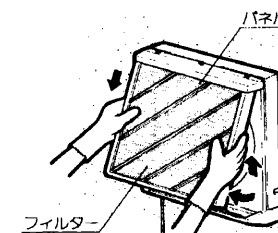
6. お手入れのしかた

LFHタイプのフィルターの交換

■フィルターが汚れてきましたら新しいフィルター(別売部品)と交換してください。
(フィルター……約3か月に1度)

- 換気扇を停止させ、フィルターを図のように外し、新しいフィルターを取外しと逆の順序で取付けます。

お願い

- 運転中にはフィルターの交換を行わないでください。

6. お手入れのしかた　つづき

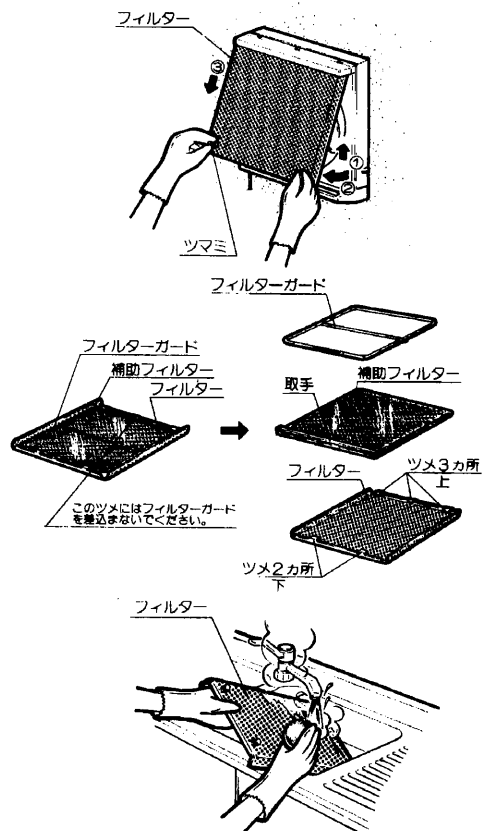
LFH-Mタイプのフィルターのお手入れ

■フィルターが汚れてきましたら下記の手順で清掃してください。(約３ヵ月に１度を目安として)
必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。(電源コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。)

1. フィルターをパネルより外します。
   ツマミを持ちいったん上に押し上げ、手前に引っ張ります。

2. フィルターガードを下側のツメから外して取外します。

3. 補助フィルターの取手を持ってツメから外します。

4. フィルターと補助フィルターはぬるま湯を流しながらタワシなどで洗ってください。

お願い

●補助フィルターは、変形しやすい物ですから、ていねいに取扱ってください。

5. 水けをふき取り乾燥させ取外しと逆の順序で組立て取付けます。

各部品の取外しかた

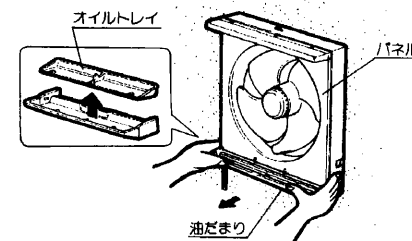
■換気扇が汚れてきましたら次の手順で取外し、清掃してください。

お願い

●必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。(電源コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。)
●製品の分解時に電源コードを傷つけないようにしてください。

■油だまり・オイルトレイ

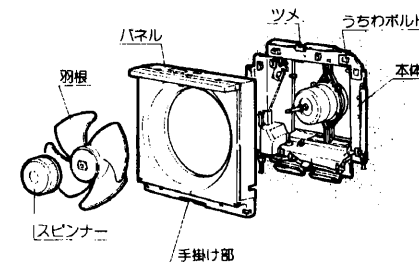
●図のように油だまりの両横を持って、かたむけないよう注意して外します。
●油がたまりましたら新しいオイルトレイと交換してください。(約６カ月に１度を目安として)

■スピンナー・羽根

●羽根を軽く持ってスピンナーを「ユルム」の表示に従って回せば外れます。
●羽根を外します。

■パネル

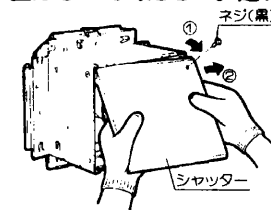
●手掛け部分を手前に引いて外し、上部角穴を本体のツメから外します。

■本　体

●「うちわボルト」をゆるめて本体を木枠より外します。

お願い

●引きひもを引いてシャッターを開いたまま床などに置かないでください。運転表示部やシャッターのこわれる原因になります。

■シャッター

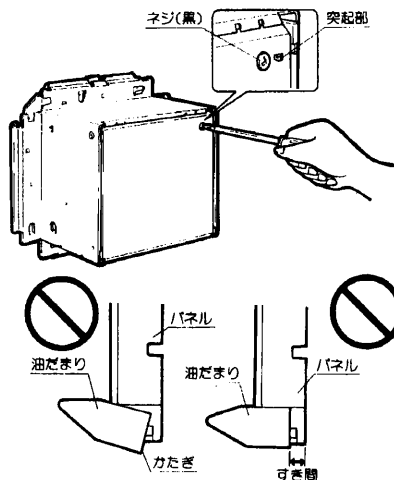
●右上のネジ(黒)を外し、図のように引っ張れば外れます。

換気扇の清掃

■パネル、油だまり、羽根、スピンナー、シャッターは中性洗剤を溶したぬるま湯に浸して汚れを落してからきれいな水で洗いよく乾かしてください。
■本体は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。

(お願い)	●お手入れに下記の溶剤を使用しないでください。 シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤 (変質・変色する原因になります)

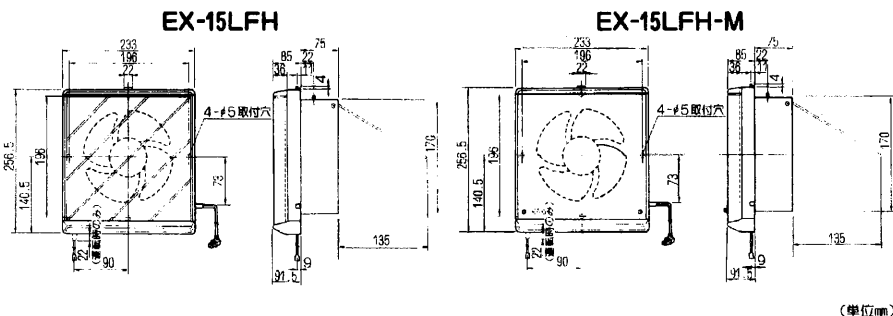
お手入れ後の組立てと確認

**お手入れが終わりましたら、取外しと逆の順序で組立ててください。
なお、シャッターの組立ては次の要領で行ってください。**

- シャッター取付板の突起部にシャッターの角穴をはめ込みネジ(黒)を締めてください。

組立てが終わりましたら次の確認をしてください。

1. 本体、羽根、スピンナー、パネルが確実に取付けられていますか。（4ページ参照）
2. 油だまりは、かたぎやすき間のないよう確実に取付けられていますか。
3. 電源コードに傷・いたみはありませんか。
4. シャッターの開閉がスムーズに行われていますか。

7. 仕　様

外形寸法図

（単位mm）

仕様表

形　名	ノッチ	消費電力(W)		風　量(m³/h)		騒　音(dB)		質　量
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	(kg)
EX-15LFH	排	10.5	12.5	282	288	38.5	39	1.8
EX-15LFH-M	排	10.5	12.5	282	288	38.5	39	1.9

※測定方法はJIS C 9603による。

8. 換気扇の診断のお願い

このような症状があれば点検してください。

スイッチを入れても羽根が回転しない。	運転中に異常音や振動がある。	シャッターが開かない。
電源プラグにコンセントが差し込まれていますか？ または停電ではありませんか？	取付ネジがゆるんでいませんか？ 羽根が変形していませんか？ 羽根が本体に当っていませんか？	シャッターが変形していませんか？

点検・処置をしても直らないときは

電源を切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。
費用については販売店とご相談ください。

9. アフターサービス

三菱換気扇のアフターサービスは、お買上げの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、三菱電機お客さま相談窓口一覧表（取付・取扱説明書同封）のお近くの相談窓口にお問い合わせください。

■補修用性能部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！　換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。
- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
- こげ臭いにおいがする。

使用中止　故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ
サービスを依頼されるとき便利です。

形　名	
お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略号を使用。）

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508　岐阜県中津川市駒場町1番3号　電話0573-66-2111